

飯南町の公共交通に関するアンケート調査結果(1)

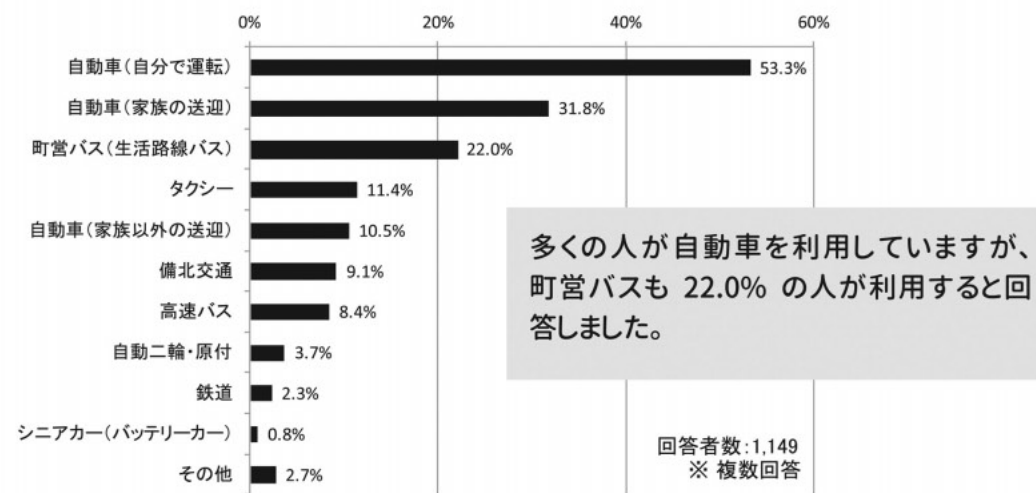
アンケート調査の概要

平成 27 年 8 月、町民の皆さんを対象に、公共交通に関するアンケート調査を行いました。1,891 世帯に郵送配布、自治会回収（一部郵送回収）でアンケートを実施した結果、1,356（回収率 71.7%）の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。調査の結果は、飯南町公共交通の計画づくりを考える上で重要な基礎資料とさせていただきます。

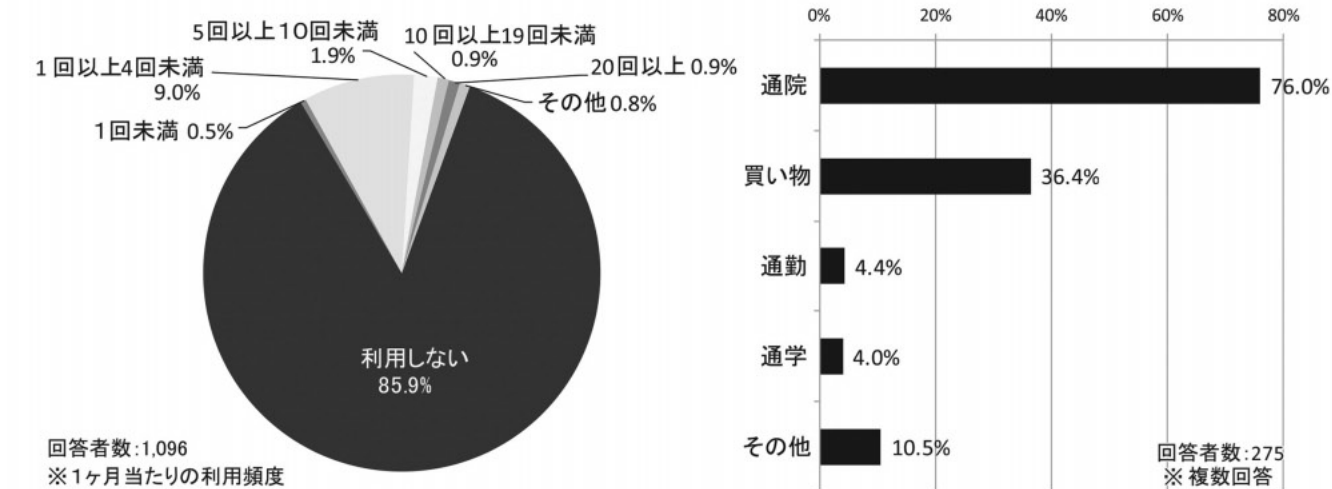
※回答は世帯の中でも高齢の方や免許証を持っていない高校生など、普段から公共交通が必要な方に回答をお願いしており、結果は町全体での平均値とは異なります。（回答の傾向を表したものです）

ここでは、アンケート調査結果の一部をご紹介します。

■ふだん利用する交通機関は何ですか？



■町営バス(生活路線バス)を月に何回くらい利用しますか？ また、利用目的はなんですか？



バスを利用しないという回答が 8 割となり、利用する人は月に 1～4 回ほど使う人が多いです。

通院目的で町営バスを利用する人が多くなっています。

飯南町の公共交通を考える

飯南町生活路線バスの現状

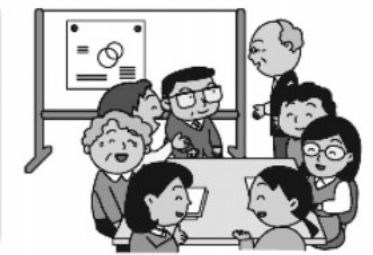
飯南町生活路線バス（町営バス）は頓原町と赤来町の合併に伴い発足し、町内を結ぶ公共交通機関として広く運行しています。赤名吉田線以外は平日のみで運行しており、車を持たない高齢者や児童・生徒などの主な交通手段として利用されています。飯南町の人口が減少していく中、生活路線バスの利用者は年々増加しており、住民一人あたりの年間利用回数は平成 17 年から 3 回以上も増加しています。

一方で、バスの運行維持に係る飯南町の支出も増加しており、平成 24 年度から平成 26 年度までにバスの維持に掛かる一般財源は 2,000 万円以上増加しています。現在は町民一人当たり約 12,000 円を年間で負担している状況です。

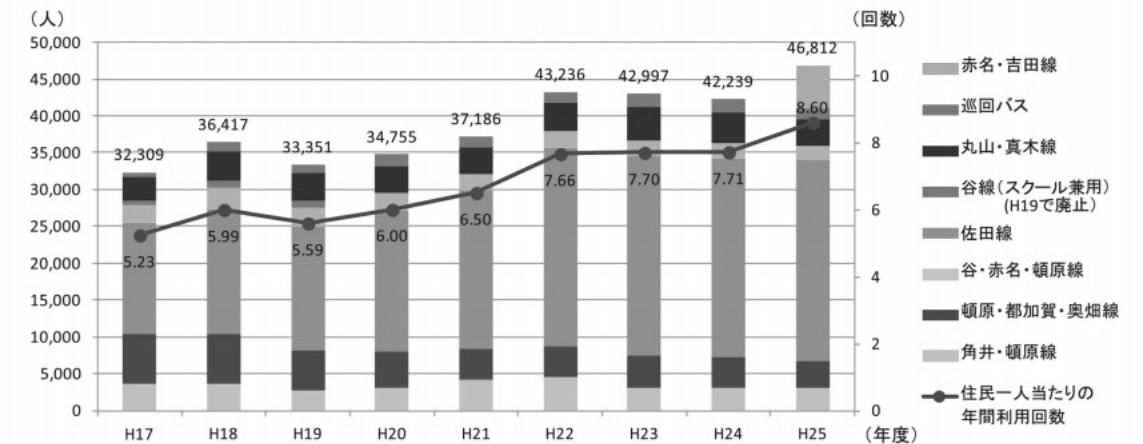
このような中、今年度はアンケート調査を初めとする各種調査を通じて町民の皆さんのニーズや意見を把握し、より良いバスの運行を目指すため公共交通についての計画づくり（飯南町地域公共交通計画）を進めています。なお、調査の結果や計画の内容については飯南町地域公共交通会議の中で検討します。

※飯南町地域公共交通会議とは…

地域の実情に応じた公共交通を形成していくため飯南町が主体となって、飯南町の自治会長や老人クラブ連合会、社会福祉協議会などの地域の代表団体の方々や赤来交通、とんぼら総合開発、備北交通といった飯南町の交通に関わる事業者の方々と意見交換を行う場です。



●生活路線バス(町営バス)利用者数の推移



●生活路線バス(町営バス)収支の推移

